

クライアントLinuxへの取り組み

[Linux Conference 2002 19th Sep]



M. Takeyama

日本KDEユーザ会(<http://www.kde.gr.jp>)

KDE Project (<http://www.kde.org>)

本題に入る前に！(自己紹介しておきます。)

**私の仕事 --- ネットワーク管理者が主な日常業務だったりします。
(サーバ数十台、クライアント数百台管理しています)**

KDE projectにかかわっていてインターネットコミュニティには少しだけ貢献しているかな。(KDEのことに関しては少しは詳しい。)

今回、システム管理者からの視点も含め、Linuxのクライアント機として日頃感じていることをコメントしたいと思います。

それでは本題へ(Linuxの最近の動向: その1)

server系 --- 小・中規模のネットワークでは当たり前として使われている
今後シェア拡大傾向にあり(リサーチ会社の調べでは)

コストパフォーマンスが優れている(デフレが追い風?)

管理がらく(RPMなどのパッケージ管理システム)

オープンソース系の対応が早い(セキュリティホールへの対応)

商用アプリがそろってきている(乗換え、移行がそれなりに)

組み込み系 --- カスタムなシステムなのでライセンス料が普及の鍵だった
のでは?(ここらへんは推測ですけど...)

Linuxデストリビュータなどの正式サポートを本格化

開発環境のそれなりに整ってきているのでは。

Linuxの最近の動向：その2 (クライアント機としてはどうなのか)

IBM社のGUI(windows)がデスクトップの市場をほぼ独占
(--> 商売上手である)

Linuxのディストリビューションのほとんどはデスクトップのビジネスにはあまり力を入れていない。ただし、海外では、Linuxをクライアント機として使用する事例が増えてきている。

韓国では、Linux + ハンコムオフィスを正式採用(確か事務用端末として)

ドイツでは、連邦政府、州政府、地方自治体でLinuxを採用したみたい(KDEの本場ならでは)

オーストリア? かペルー? では、学校にLinuxを導入しようとしていると圧力がかったらしい。

中国では、RedFlag(Linux)を国策として進めているらしい。(実際の現場は知りませんが)

日本では、.....

私の身近な実例として

しているシステムの主な仕様(旧システムからの移行を優先):

- Linuxのディストリビューション / Windows XPのデュアルブート
- Linux側のユーザ管理はNISで管理(旧システム移行)
- ユーザーホームは、NFSで (Windows XPからはsambaで共通化)
- Webブラウザ(NetScape 4.x & Mozilla)
- メール送受信ソフト(NetScape 4.x & Mozillaのメーラ)
- NCクライアントもあり
- vmwareも導入されている
- プリンタは、PSプリンター(PS3)に出力

KDE(本家)での実例として

KDE Enterprise (<http://enterprise.kde.org>)

ソフト開発のフロントエンド(Solaris & HP-UX) --- telnet(コンソール) & webブラウザ
サーバ/クライアント(All Linux)のクライアント[KDE, ssh, rsync, cobbler, staroffice]
会社のdesktopとして全社的に使用(プログラマ、ライター、法務部門、会計、etc...)
server(DB, nfs, samba, nis, fax, mail)

-> client(Kmail, Konqueror, Quanta+, Kdevelop, Applixware Office, Gimp)

KDE + StartOffice(“klawyer”, “kadvocat”などのプロジェクトにも注目)

KDE + Koffice (=> KDE + Applixwareへリプレースした)

KDE + Word Perfect + Corel 2000 (MS-Windows, Mac, Sunとミックスした環境)

インターネットのブラウジング、IRC、ソフトの開発など

ネットワークプラン(Kivio), 管理者(Staroffice), メール送受信(Kmail)

インターネットカフェのターミナル(Desklessマシン)

KDE + Koffice(オフィス業務), 開発環境と同時に使っている

.

.

Linuxのクライアントとして使う場合のメリット(特長)

オープンソースなアプリが利用できる(自由に変更できたりする)

UNIXサーバと相性が良い

パッチ(セキュリティパッチ)の公開が早い

サーバと違ってPull型(Webブラウザ)を重点的にやることで大体の場合は十分

UIもそこそこ使える環境になってきている

リモートメンテが結構容易 --- ftp, http, scp, sch, crontabなどを利用して自動シェル実

現クアックアップ on LANなどを使った場合 --- BIOS, ハード(NIC)のサポートが前提)

.

.

Linuxのクライアントとして使うのデメリット(問題点)

改善されてきていると思うが...

UIでもフォントまわりが弱い(きれいなFreeなTrueTypeがそろっていない)

プリンターまわりが弱い(PSプリンタだとそこそこ使える)

フィス系アプリがまだまだ弱い

示系(Output)はそこそこ表示できる。入力系(Imput)は、まだまだ不十分
度的なことを含めてチューニングの余地がまだある(コンパイラの最適化など)

GUIを使い出したとたんそれなりにマシースペックが要求されたりする

UIなソフトは、結構Xに依存してしまうところがある。

(最新のグラフィックカードのネイティブなドライバーがなかったりする)

ーザでの設定(MS-Windowsのようなプラグ&プレイ)

しいデバイスへの対応がまだまだだと思う(Linux全般的で言えること)

.

.

KDE Projectの最近の動向

2002年 4月 3日 KDE 3.0がリリース

2002年 5月 22日 KDE 3.0.1がリリース

2002年 7月 2日 KDE 3.0.2がリリース

2002年 8月 19日 KDE 3.0.3がリリース(kdelib3.0.3aのみ 9月 11日)

2002年 8月 21日 KDE 3.1 beta1がリリース

2002年 9月 10日 KOffice 1.2がリリース

2002年 9月 12日 QT 3.1.0 beta1 がリリース

2002年 10月 2日ごろ KDE 3.0.4がリリース予定

E Project関係で最近注目しているもの

**Groupware(Free Software Groupware) Project(02' 9/10にスタート
: (<http://mail.kde.org/mailman/listinfo/kroupawere>)**

- ・Server(Kolab Server) --- Email(mail送信)はアプリケーションレベルPGP/GPGを使用し,トランスポートレベルではSMTP over TLSコネクション
IMAP over TLSが基本でPOP3 over SSL はオプションで
(IMAP, POP3 も残している)
Contactsサーバ(IMAPのサブフォルダ“Contacts”)
Address Book(OpenLDAP v2) --- 変更はwebベース(https)
Calendarサーバ(IMAPのサブフォルダ“Calendar”)
- ・関係するデーモン --- (OpenLDAP, Cyrus IMAP, Pstfix)・・
- ・KDE側(kdelib, kdebase, knetwork, kpim) KmailとKorganizerを拡張
- ・Outlook(MS)をサポート(Bynari Insight Connector Plugin 1.09)としている
(MS-NT 4.0, MS-2000)
- ・HotSyncプロトコルでPDAをサポート(Palm V(Palm OS V3.1))

め

うやったらみんなが Happyになれるか？

やっぱりディストリビューションにはもっとがんばってもらいたい(いろいろな意味で)
日本語のローカライズ(ドキュメント、メッセージなど)は、日本語のわかる人がやらないと
国際化(i18n/m17n)の部分は、ドキュメント(技術)がそろっていれば日本人以外の開発者
がやってくれるかも... (他力本願的ですけど)

本質的(根本的な)な改善を望むなら、開発者のコアなメンバーに直接コンタクトが一番？
「やっぱり英語ができない」となるのですけど...

コミュニティでやっている方を応援しよう「プラスのメッセージはやる気を起こさせる」
(ほめ殺し?)

プロモーションは大切 (地道な努力の積み重ねが基本)

若い人がたくさん出てきてほしい。(環境作りも大切かな)

個人的には)

LCの提出ドキュメントは、Kword, Kpresenterのフォーマットを認めてくれ！！

謝辞

KDE Projectのメンバー(本家)、JKUG(日本KDEユーザ会)のみなさんならびに LC2002関係者諸氏に感謝いたします。